

# 働き方改革最前線



早川敏江社長

り、専業主婦だった当時、世間にママが働ける環境がなかった苦い経験がある。

目指したのは、「地域のママの能力を埋もれさせない」と。現在は、外資系や大手コンサルタント出身など、キャリアがありながら子育てという事情で辞めざるを得なかったママたちが、柔軟な勤務時間の中でその能力をいかに発揮している。

## 「女性とママの視点」が基本

### タキモ本店 柔軟な勤務時間を実現

1760年ごろから名古屋圏の和食文化を支えてきた老舗のタキモ本店が、令和時代においても他社に先駆け働き方改革を進めている。先頭に立つのは創業家出身の早川敏江社長。

改革の基本は「女性とママの視点」で、柔軟な勤務時間と子連れ出勤を可能にするため、社長室の一角にキッズルームを作った。自身も4人の子育てに奮闘した経験があ



社長室内のキッズルーム

早川社長は「元ママ4人。雇用形態はアルバイトだが、勤務の基本的管理の考えは、時間ではなく、一つ一つの仕事にあり、期日までに仕事を終えれば、働く」と。現在は、外資系や大手コンサルタント出身など、キャリアがありながら子育てという事情で辞めざるを得なかったママたちが、柔軟な勤務時間の中でその能力をいかに発揮している。

「女性とママの視点」が基本。柔軟な勤務時間を実現するために、早川社長は「元ママ4人。雇用形態はアルバイトだが、勤務の基本的管理の考えは、時間ではなく、一つ一つの仕事にあり、期日までに仕事を終えれば、働く」と。現在は、外資系や大手コンサルタント出身など、キャリアがありながら子育てという事情で辞めざるを得なかったママたちが、柔軟な勤務時間の中でその能力をいかに発揮している。

「当社に限らず、活躍の場を見つけてほしい」と。早川社長は願っている。また、外国人の採用も積極的。同社正社員でガナ出身のアブラハム・シャーさんは以前、ハロワークから「良い子だがなかなか採用が決まらない」と相談があった。

「女性とママの視点」が基本。柔軟な勤務時間を実現するために、早川社長は「元ママ4人。雇用形態はアルバイトだが、勤務の基本的管理の考えは、時間ではなく、一つ一つの仕事にあり、期日までに仕事を終えれば、働く」と。現在は、外資系や大手コンサルタント出身など、キャリアがありながら子育てという事情で辞めざるを得なかったママたちが、柔軟な勤務時間の中でその能力をいかに発揮している。

(海野裕之)